

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部		
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-keimu @ pref.nagano.lg.jp		

### 1 現状と課題

近年、県内の交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、人や車の動きがコロナ禍前に戻りつつあり、重大交通事故が増加傾向に転じているほか、死者数全体に占める高齢者の割合が約6割を占め、高齢運転者による重大事故が頻発している実態などを踏まえ、高齢者の交通事故防止対策を最重点として各種交通安全対策を推進していく必要がある。

### 2 事業目的

交通事故の減少や交通の円滑化を図り、日本一安全・安心な信州を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①交通安全意識の醸成

- 交通安全教育（チャレンジ号等）の実施
- 高齢運転者に対するドライブレコーダーを活用した教育
- 横断歩道ルール・マナーアップの推進



参加・体験・実践型交通安全教育（チャレンジ号）

#### ②道路交通秩序の維持

- 事故多発路線等における白バイ・パトカーによる街頭活動
- 交通事故に直結するおそれのある違反に重点を置いた交通指導取締り
- 交通事故捜査の高度化



交通指導取締り



交通安全施設整備

#### ③安全で円滑な交通環境の整備

- 交通事故防止と交通の円滑化に資する交通安全施設の整備

#### ④適正な運転免許行政の推進

- 認知機能検査及び高齢者講習の円滑な実施

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし										
②											
③											

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	★交通事故死者数	人	2021 (R3)	45	2022 (R4)	46	2023 (R5)	42	2025 (R7)	45

### 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	203,842	2,800,657	△ 145,774	2,858,725	705,172	2,799,793	-
R4年度	21,562	2,966,287	△ 184,746	2,803,103	869,818	2,588,375	-
R3年度	0	2,879,156	△ 136,264	2,742,892	856,593	2,665,756	-

事業名	<b>交通安全対策の推進事業</b>	部局	警察本部	課・室	交通部
-----	--------------------	----	------	-----	-----

**7 主な取組実績と成果**

**①交通安全意識の醸成**

- 交通安全教育車（チャレンジ号）による安全教育を県下206か所において実施し、延べ4,770人が体験したほか、横断歩道ルール・マナーアップ運動を4年連続で実施し、横断歩道は歩行者優先であることをラジオCMによりドライバーにリアルタイムで呼び掛けた結果、ラジオ聴取率は約12.3%で、J A Fの調査では信号機のない横断歩道における停止率は8年連続全国1位という結果であった。



交通安全教育車（チャレンジ号）

**②道路交通秩序の維持**

- 通学路を中心に可搬式速度測定装置を使用した交通事故の抑止と飲酒運転をはじめとした悪質危険運転者を徹底検挙し、交通事故の抑制を図った。

**③安全で円滑な交通環境の整備**

- 交通事故防止と交通の円滑化を図るため、交通信号機の新設7か所と歩車分離式信号機5か所を整備したほか、老朽化した制御機の更新や視認性の向上と省エネ効果をもたらす信号灯器のLED化、摩耗した標示の補修事業などを実施し、交通事故死者数の抑止目標を達成した。

**④適正な運転免許行政の推進**

- 高齢運転者（75歳以上）に対する免許更新時の運転技能検査・認知機能検査・高齢者講習と更新時以外の臨時の認知機能検査・高齢者講習に係る対策を実施した。[運転技能検査：2,024人][認知機能検査：更新時69,192人、臨時2,154人][高齢者講習：85,524人、臨時13人]
- 一定の病気や認知症等の疑いがある運転者に対する安全運転相談を実施した。[安全運転相談件数5,030件]

**8 成果指標の達成状況に関する要因分析**

指標①	指標なし	R4年度推移	R5年度推移	達成状況
指標②		R4年度推移	R5年度推移	達成状況
指標③		R4年度推移	R5年度推移	達成状況

**9 今後の事業の方向性**

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
令和5年中の交通事故死者数は、前年に比べて4人減少したものの、発生件数、負傷者数は増加したほか、高齢者人口の増加等を背景として、死者数全体に占める高齢者の割合は約6割を占め、死亡事故の約3割が高齢運転者によるものであるなど、引き続き高齢者の交通事故防止が課題である。
(2) 事業改善の方策
令和5年中の交通事故発生件数及び負傷者数は、前年に比べて増加しており、今後も交通事故の増加が懸念されることから、高齢者の交通事故防止を重点に、チャレンジ号の高機能化等により、参加・体験・実践型教育の更なる推進を図るとともに、運転免許の各種講習の充実化を図る。また、次代を担う子供の安全確保のため、交通事故に直結する悪質・危険違反取締りのための装備資機材及び交通事故のない安全で快適な交通環境の整備のための信号機等交通安全設備の充実化を図る。

事業番号	16 01 02	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>交通安全対策の推進事業</b>		部局	警察本部	課・室	交通部

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>交通関係講習経費</b>		707,850 千円	824,017 千円	233,001 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通関係講習経費	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習用教材、講習用機器の整備等</li> <li>・受講通知、受講者管理業務</li> <li>・運転シミュレータ、各種講習用機器のリース料</li> <li>・安全運転管理者講習、行政処分者講習、違反者講習等各種講習に要する委託料</li> </ul>		
			安全運転管理者講習：年間72回、11,955人を対象に実施		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>交通安全教育推進事業</b>		16,612 千円	16,572 千円	16,768 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全教育推進事業	直接 委託 負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季別交通安全運動活動への支援、交通安全教育知識向上のための講習会の実施</li> <li>・高齢者を中心とした運転適性診断の実施、ドライブレコーダーのサポート機能を活用した交通安全教育、チャレンジ号等による交通安全教育の実施</li> <li>・交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ号による交通安全教育：206回、4,770人が受講</li> <li>・ドライブレコーダーによる交通安全教育：358人を対象に実施</li> </ul>		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	<b>交通指導取締経費</b>		125,594 千円	159,855 千円	153,724 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通指導取締経費	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指導取締りに要する経費、交通指導取締機器の整備、修繕等に要する経費（記録式飲酒検知器12台整備）</li> <li>・日本道路交通情報センター、子供自転車大会等の負担金</li> <li>・長野県交通安全協会の交通安全対策事業に対する補助金</li> </ul>		
			飲酒運転検挙件数263件（R5年中）		
2	交通事故捜査経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故捜査用資機材等の整備、交通事故記録装置点検料等（交通事故記録装置1台の撤去・2台の点検、交通捜査用機材の導入）</li> <li>・交通基本情報管理システムの維持管理経費</li> </ul>		
			ひき逃げ事件検挙率81.0%、危険運転致死傷罪の検挙13件（R5年中）		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	交通安全施設整備事業		1,592,360 千円	1,360,402 千円	2,163,026 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全施設整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通信号機の新設、改良（LED化・歩車分離等）、更新整備</li> <li>・道路標識・標示の整備等</li> </ul>		
			交通信号機新設7か所、信号灯器のLED化約4,000灯、制御機更新254基		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	駐車対策推進事業		223,340 千円	227,529 千円	233,274 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	駐車対策推進事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路使用許可申請された工事等について、条件の履行、原状回復等の調査委託</li> <li>・自動車保管場所現地調査、標章交付業務の委託</li> <li>・駐車監視員による放置車両確認事務委託</li> <li>・放置違反金収納に要する経費</li> </ul>		
			駐車監視員による放置車両確認標章貼付件数438件		